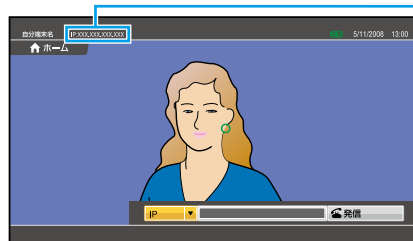
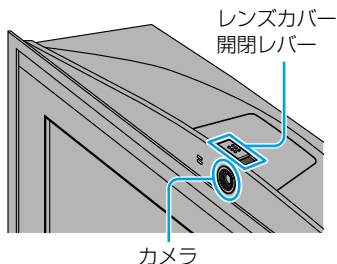


1. はじめに

レンズカバーを開け、HDビジュアルコミュニケーションシステムの電源を入れ、相手と接続可能な状態であることをチェックしましょう。

本機には、カメラを隠すためのレンズカバーがついています。ビデオ会議を始める前に、本体上部のレンズカバー開閉レバーを右にスライドさせ、必ずレンズカバーを開けてください。レンズカバーが閉まったままでは、自分側の映像が相手に見えません。



- ① 自分側のカメラ映像が写っていますか？
- ② 自分の IP アドレス、または ISDN 回線番号が表示されていますか？

ご注意

- IPアドレスもISDN回線番号も表示されていないときは、相手と接続できません。
- メニューの設定により、IPアドレスを表示させないこともできます。

通信中に表示される主なインジケーター

	FAR 相手側のカメラをコントロール
	NEAR 自分のマイクがオフ
	プレゼンテーション実行中 (送信中)

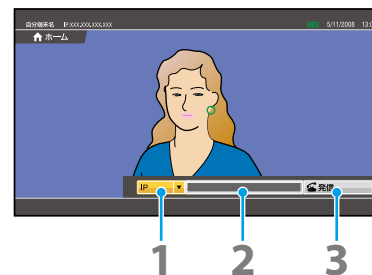
	プレゼンテーション実行中 (受信中)
	NEAR アノテーション (ペンタブレットを使って画面に文字や絵を描く機能) で自分がドローイング中

2. 接続しましょう

ここではダイレクトダイヤルを使用した発信手順を説明します。

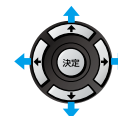
ご注意

ダイレクトダイヤルを使用するには、あらかじめホーム画面設定メニューの「ダイレクトダイヤル」を「入」に設定してください。



各種選択ごとに「決定」を押してお進みください。

1 「回線種別」を選択*。



* 設定により、回線種別が選択できない場合もあります。

2 IPアドレス、またはISDN回線番号を入力。



3 「発信」を選んで決定、または「接続」を押す。

ダイヤルされて接続完了。

通信中に使う機能

詳しい操作のしかたは、取扱説明書(付属CD-ROM内)をご覧ください。

① プレゼンテーション画像の送信

RGB IN端子に接続したコンピューター画像を相手に送信します。

② 操作するカメラを切り換え

自分側カメラと相手側カメラのどちらを操作するかを切り換えます。

③ モニターに表示される映像の切り換え

レイアウトボタンを押してレイアウトメニューを表示します。



▲/▼/◆/▶ボタンと決定ボタンで、相手側の映像と自分側の映像の表示パターンを選びます。

④ 入力される映像の切り換え

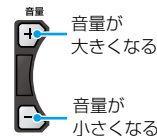
入力切換ボタンを押して、ビデオ入力メニューを表示します。



▲/▼/◆/▶ボタンと決定ボタンで映像入力を選びます。

CAMERA：内蔵カメラの映像
RGB：RGB IN端子に接続したコンピューターなどの映像

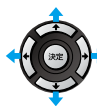
⑤ 相手の音量の調節



ヘッドセットでの通話ができます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

⑥ メニューの選択

画面に表示されるメニューの項目を選択し、決定します。



⑦ カメラメニューの表示

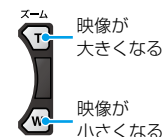
カメラボタンを押してカメラメニューを表示します。



▲/▼/◆/▶ボタンでメニュー項目を選び、決定ボタンを押すと選んだ調整用のメニューが表示されます。

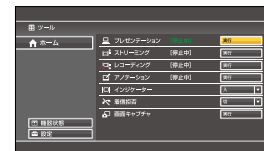
カメラ調整：ズーム調整をするとき
輝度調整：画面の明るさを調整するとき
プリセット：ズームをプリセット登録したり、プリセット登録した情報を呼び出すとき
詳細：フォーカス調整、ホワイトバランス調整、バックライト機能を使うとき

⑧ カメラのズーム調整



⑨ ツールメニューの表示

ツールボタンを押してツールメニューを表示します。



▲/▼/◆/▶ボタンでメニュー項目を選び、決定ボタンを押すと、アノテーション機能などを実行できます。

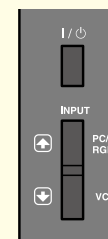
⑩ 接続を終了して切断

⑪ プリセットしたカメラズームの呼び出し

カメラメニューから「プリセット」を選び、プリセター一覧メニューを表示します。
1～6ボタンを押すと、プリセットされた状態にカメラがズームします。

⑫ 自分マイクの入/切

画面の切り換え



本体右側面のPC/RGBボタンとVCボタンを押すことで、ビデオ会議画面とコンピューター画面を切り換えることができます。
また、リモコンのレイアウトボタンを長押しして画面を切り換えることもできます。